

# 新宗教新聞

新宗連スローガン  
信教の自由を守る  
信仰心を広めよ  
宗教協力を進めよ  
世界の平和に貢献しよう

## 巡礼団派遣や座談会実施へ

新日本宗教団体連合会(新宗連)は現在、結成70周年記念の諸事業を展開している。10月26、27日に長崎と広島に「戦争犠牲者慰霊供養(巡礼)団」を派遣し、原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典を執行、9月からはスローガンに関する座談会、新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会、宮本泰克委員長)の歴代委員長座談会を実施。来年3月のクロージング式典まで記念事業を実施する。



長崎「慰霊と鎮魂の祈り」を奏上

## 新宗連 結成70周年記念事業を展開



広島 参列者一同黙祷を捧げる

### 原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典

長崎 10月26日  
「長崎原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」は10月26日午前11時から、長崎市の原爆犠牲者慰霊堂(原爆資料館)で執り行われた。  
新宗連を代表して、石倉寿一理事長があいさつを行った後、清水、飯倉、九州総支部長(新宗連常務理事)と新宗連結成70周年特別委員会の仙波達治委員長と柳澤伸光委員長が祭壇前に進み「慰霊と鎮魂の祈り」を奏上した。  
そして長崎に投下された原子爆弾で亡くなった御霊の平安と世界の平和を祈願して参列者全員で黙祷を捧げた。  
この後、崇教真光、善隣教、大慧會教団、大法輪台、意光妙法教、立正佼成会により教団別礼拝を行った。続いて、島津静子さん(立正佼成会)が「平和へのメッセージ」を発表した。島津さんは母親の被爆体験を通して、自身の被爆2世としての葛藤や、目の前で

## 令和5年度事業大綱案、会議・行事予定など承認

新宗連石倉寿一理事長ら、東京・代々木の新宗連は10月6日午後1時半から「令和5年度事業大綱案」について承認し、行事予定など承認した。令和5年度事業大綱案は、令和4年度事業大綱案を継承し、令和5年度事業大綱案として承認した。令和5年度事業大綱案は、令和4年度事業大綱案を継承し、令和5年度事業大綱案として承認した。令和5年度事業大綱案は、令和4年度事業大綱案を継承し、令和5年度事業大綱案として承認した。



新宗連会館とオンライン併用で開催した理事会

令和5年度事業大綱案は、令和4年度事業大綱案を継承し、令和5年度事業大綱案として承認した。令和5年度事業大綱案は、令和4年度事業大綱案を継承し、令和5年度事業大綱案として承認した。令和5年度事業大綱案は、令和4年度事業大綱案を継承し、令和5年度事業大綱案として承認した。

### スローガン座談会、2回が終了

スローガン「信教の自由を守ろう」に関する座談会が9月21日午後1時から、東京・代々木の新宗連会館で開催された。東京大学名誉教授の島田進氏と新宗連信教の自由委員会(信教委員)委員長の本山一博氏(玉

### 健康幸福への道を歩む

「コロナ禍の体験、終息を祈り思うこと」が、各人の自覚と努力なしには得られない時代なのです。私だけなく、世界中の宗教者がコロナ終息を祈っています。すべての人が健康幸福への道を一緒に歩んでいくことを信じてください。善念

### 信教の自由を守る

「信教の自由」に関する座談会が9月16日午後1時から、新宗連会館で開催された。宮本泰克氏(新宗連青年会代表)と岡野英夫氏(新宗連青年会代表)が出席し、信教の自由に関する議論が行われた。

### 滔々抄

令和元年12月末から、中国から始まった新型コロナウイルス感染症は、現在も世界中に蔓延し、現在も終息の気配は見えない。10月21日の新規感染者は全国で3万1801人、私が住む北海道は3158人。通算死亡者数は4万6264人と報道されている。北海道の数は全国に比べて多過ぎる気がしますが、どの宗教でも信者さんは高齢者が多いので、感染すると重症化のリスクが高く対応には注意が必要です。

## 健康幸福への道を歩む

「コロナ禍の体験、終息を祈り思うこと」が、各人の自覚と努力なしには得られない時代なのです。私だけなく、世界中の宗教者がコロナ終息を祈っています。すべての人が健康幸福への道を一緒に歩んでいくことを信じてください。善念

緊急出版 カトリック大阪教区神父 西山俊彦 平和憲法が平和への道、改憲は戦争への道 わたしたちが核戦争の加害者とならないために 世が平和にならなくとも、時を待たずに後継しないために 平和憲法を真価高直す素直な道 文芸社

# ピースフォーラム2022 笑顔で「平和の震源地」に

## 青中連

新日本宗教青年会中部連盟(青中連)は9月18日と10月2日の2回連続で、岐阜県委員会を受け入れにより、「ピースフォーラム2022」を「私」として世界を元気にしようをテーマに開催した。新型コロナウイルス禍のため、昨年同様、オンラインで開催された。

今回は吉本興業出身の漫才コンビで現在は放送作家、漫才師、講師として活躍する「Wマコト」(株式会社アールエムコミュニケーション)を講師に招き、「笑い」と「コミュニケーション」について説明した。Wマコトは「笑い」が人を元気にする力があることを説明し、コミュニケーションの重要性を説いた。

10月2日の第2回は、他者とのコミュニケーションの重要性を説き、自己肯定感を高める方法を伝えた。Wマコトは「笑い」が人を元気にする力があることを説明し、コミュニケーションの重要性を説いた。

分とのコミュニケーションがテーマ。ありのままの自分を受け入れることや自己開示の大切さを伝え、自己を表現する大切さを説いた。Wマコトは「笑い」が人を元気にする力があることを説明し、コミュニケーションの重要性を説いた。

10月2日の第2回は、他者とのコミュニケーションの重要性を説き、自己肯定感を高める方法を伝えた。Wマコトは「笑い」が人を元気にする力があることを説明し、コミュニケーションの重要性を説いた。

# SDGsをテーマに取り組み

## 青九連ユースフォーラム2022 in 宮崎

新日本宗教青年会九州連盟(青九連)は10月2日午後1時から、オンラインで「青九連ユースフォーラム2022 in 宮崎」を開催した。テーマは「SDGs」(持続可能な開発目標)である。SDGsの重要性を説き、各グループに課題を提示した。

青九連では例年、輪番で包括地域の各青年委員会が受け入れを行い、その地域に集まり、ユースフォーラムを開催している。今年も新型コロナウイルス感染症防止のためオンラインで開催となったが、企画・運営は受け入れの宮崎地区委員会が担当した。最初に「アイスブレイク」を行い、続いて、事前に準備されたSDGsに関する動画を視聴。視聴の後、各グループに課題を提示し、グループごとに答えを出す方式のクイズがなされた。クイズの内容は世界の貧困に関する問題で、5人1人が通して正しい答えを導き出す必要がある。約7億人の人が1日200円で生活していること、日本では年間東日本大震災の被害を受けた人と同じくらい、貧困に苦しんでいる人がいること、SDGsの重要性を説き、各グループに課題を提示した。

# 連合 宗連 青年

## 新理事長に戸松義晴氏

### WCRP日本委 第41回理事会で選任

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会(植松誠理事長)は9月13日午後2時から、第41回理事会をオンラインで開催した。

5件の審議事項の中で、「ウクライナ情勢への対応」として、WCRP日本委員会による人道支援募金と、WCRP国際委員会との連携を促すこと、平和の震源地をテーマにした「ピースフォーラム2022」の開催を決定した。

また、理事の選任も決まった。新理事長に戸松義晴氏(69)が選任された。戸松氏は浄土宗総合研究所所長と日本宗連連盟理事長を歴任している。任期は2年。

戸松新理事長(右)と植松前理事長(左)の挨拶。植松前理事長は「戸松新理事長は、宗連の発展に貢献していただいている」と語り、戸松氏は「宗連の発展に貢献していただいている」と語り、両者は互いに激励を述べた。

また、理事の選任も決まった。新理事長に戸松義晴氏(69)が選任された。戸松氏は浄土宗総合研究所所長と日本宗連連盟理事長を歴任している。任期は2年。

## ジェンダー問題を学ぶ

### 青連 役員会・学習会

新日本宗教青年会奥羽連盟(青奥連)は9月25日午後1時から、オンラインで令和4年度役員会と学習会を開催した。

役員会では、令和4年度事業中間報告を各事業の担当者から報告を受けた。また、令和4年度の事業計画(仮案)を確認した。

学習会では、ジェンダー問題について学び、各グループで意見交換を行い、各グループ代表者が意見をまとめた。また、ジェンダー問題について学び、各グループで意見交換を行い、各グループ代表者が意見をまとめた。

## 靖国神社を訪問

### 首都圏 研修会

新日本宗教青年会首都圏支部(本山博会長)は9月6日午後2時から、オンラインで「靖国神社を訪問」の研修会を開催した。

研修会では、「靖国神社の歴史と意義」について学び、各グループで意見交換を行い、各グループ代表者が意見をまとめた。また、靖国神社の歴史と意義について学び、各グループで意見交換を行い、各グループ代表者が意見をまとめた。

## 11月の復興祈願 式典などを協議

### 東北総務会

東北総務会は10月13日午後1時から、福島市の「ラッセ福島」で令和4年度第2回総務会を開催した。

総務会では、11月の復興祈願式典について協議し、東北総務会として取り組むべきことを決めた。また、復興祈願式典について協議し、東北総務会として取り組むべきことを決めた。

## 創設40周年記念式典

### パネルトークを開催

#### WCRP日本委 女性部会

WCRP日本委員会女性部会(森脇友紀子部長)は9月10日午後1時から、オンラインで「創設40周年記念式典」を開催した。

式典では、創設40周年を振り返り、今後の活動について話し合った。また、パネルトークを開催し、女性部会の活動について話し合った。

森脇友紀子部長は「創設40周年を振り返り、今後の活動について話し合った」と語り、パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

また、パネルトークを開催し、女性部会の活動について話し合った。パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、森脇部長は「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

## 第57回 8・14式典

### ダイジェスト公開

このほど、第57回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8・14式典)」のダイジェスト版が完成し、新日本宗教青年会のYouTubeチャンネルで公開された。

式典では、戦争犠牲者への追悼と平和の祈りを込めて、様々なパフォーマンスが行われた。また、戦争犠牲者への追悼と平和の祈りを込めて、様々なパフォーマンスが行われた。

## 第19回 奈良良宗教者フォーラム

### 日本のこころと宗教の役割

第19回奈良良宗教者フォーラム(同実行委員会主催)は9月14日午後5時半から、奈良市の興福寺会館で開催された。

フォーラムでは、「日本のこころと宗教の役割」をテーマに、各宗教の代表者が講演を行った。また、各宗教の代表者が講演を行った。

## 第1回 庭野平和賞奨励賞 3氏が決定

### 庭野平和財団

庭野平和財団(庭野日鏡理事長)は9月16日午後2時から、オンラインで第1回庭野平和賞奨励賞の授賞式典を開催した。

授賞式典では、庭野平和財団の活動に貢献した3名に奨励賞が授けられた。また、庭野平和財団の活動に貢献した3名に奨励賞が授けられた。

## 第19回 奈良良宗教者フォーラム

### 日本のこころと宗教の役割

第19回奈良良宗教者フォーラム(同実行委員会主催)は9月14日午後5時半から、奈良市の興福寺会館で開催された。

フォーラムでは、「日本のこころと宗教の役割」をテーマに、各宗教の代表者が講演を行った。また、各宗教の代表者が講演を行った。

森脇友紀子部長は「創設40周年を振り返り、今後の活動について話し合った」と語り、パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

また、パネルトークを開催し、女性部会の活動について話し合った。パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、森脇部長は「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

## 【諸会議報告】

### 事業の進捗状況確認と口 シシキ式典について協議

70周年特別委員会(江口陽一委員長)は、8月29日午後2時から、9月29日午後1時から、10月10日午後2時から、オンラインで第20・21・22回委員会を開催した。

委員会では、事業の進捗状況を確認し、口シシキ式典について協議した。また、事業の進捗状況を確認し、口シシキ式典について協議した。

## 第19回 奈良良宗教者フォーラム

### 日本のこころと宗教の役割

第19回奈良良宗教者フォーラム(同実行委員会主催)は9月14日午後5時半から、奈良市の興福寺会館で開催された。

フォーラムでは、「日本のこころと宗教の役割」をテーマに、各宗教の代表者が講演を行った。また、各宗教の代表者が講演を行った。

## 第1回 庭野平和賞奨励賞 3氏が決定

### 庭野平和財団

庭野平和財団(庭野日鏡理事長)は9月16日午後2時から、オンラインで第1回庭野平和賞奨励賞の授賞式典を開催した。

授賞式典では、庭野平和財団の活動に貢献した3名に奨励賞が授けられた。また、庭野平和財団の活動に貢献した3名に奨励賞が授けられた。

## 第19回 奈良良宗教者フォーラム

### 日本のこころと宗教の役割

第19回奈良良宗教者フォーラム(同実行委員会主催)は9月14日午後5時半から、奈良市の興福寺会館で開催された。

フォーラムでは、「日本のこころと宗教の役割」をテーマに、各宗教の代表者が講演を行った。また、各宗教の代表者が講演を行った。

森脇友紀子部長は「創設40周年を振り返り、今後の活動について話し合った」と語り、パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

また、パネルトークを開催し、女性部会の活動について話し合った。パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、森脇部長は「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

## 【諸会議報告】

### 事業の進捗状況確認と口 シシキ式典について協議

70周年特別委員会(江口陽一委員長)は、8月29日午後2時から、9月29日午後1時から、10月10日午後2時から、オンラインで第20・21・22回委員会を開催した。

委員会では、事業の進捗状況を確認し、口シシキ式典について協議した。また、事業の進捗状況を確認し、口シシキ式典について協議した。

## 第19回 奈良良宗教者フォーラム

### 日本のこころと宗教の役割

第19回奈良良宗教者フォーラム(同実行委員会主催)は9月14日午後5時半から、奈良市の興福寺会館で開催された。

フォーラムでは、「日本のこころと宗教の役割」をテーマに、各宗教の代表者が講演を行った。また、各宗教の代表者が講演を行った。

## 第1回 庭野平和賞奨励賞 3氏が決定

### 庭野平和財団

庭野平和財団(庭野日鏡理事長)は9月16日午後2時から、オンラインで第1回庭野平和賞奨励賞の授賞式典を開催した。

授賞式典では、庭野平和財団の活動に貢献した3名に奨励賞が授けられた。また、庭野平和財団の活動に貢献した3名に奨励賞が授けられた。

## 第19回 奈良良宗教者フォーラム

### 日本のこころと宗教の役割

第19回奈良良宗教者フォーラム(同実行委員会主催)は9月14日午後5時半から、奈良市の興福寺会館で開催された。

フォーラムでは、「日本のこころと宗教の役割」をテーマに、各宗教の代表者が講演を行った。また、各宗教の代表者が講演を行った。

森脇友紀子部長は「創設40周年を振り返り、今後の活動について話し合った」と語り、パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。

また、パネルトークを開催し、女性部会の活動について話し合った。パネリストは「女性部会の活動について話し合った」と語り、森脇部長は「女性部会の活動について話し合った」と語り、両者は互いに激励を述べた。



